

台風18・19号が連続して襲来



暴風で倒れたさとうきび（瀬利寛）



塩害を受けたグラジオラス（芦清良）



塩害を受けたソリダゴ（芦清良）

大型で非常に強い台風18号が、10月4日から5日にかけて襲来しました。幸いにも暴風域は免れ、大きな被害も出ないうちに過ぎ去りました。

しかし、翌週11日から13日には、18号と同様の大型で非常に強い台風19号が襲来し、直撃。島全体が長時間暴風雨にさらされ、さとうきび、ソリダゴやグラジオラスなどの花き類は大きな被害を受け、被害額は、約8400万円にも上りました。

この他、人的被害・住宅被害が各1件、港湾関係では、知名漁港道路が一部陥没する被害がありました。

また、襲来前から貨物フェリーが運休し生活物資が不足したことや、一部地域では14日午後まで電気が復旧しなかったこと、さらに、一時携帯電話が使用できなくなるなど、町民の生活に大きな支障が出ました。

なお、今回の19号では、34世帯51名の方々が自主避難をしていました。

芭蕉布・技術後継者募集

「芭蕉布」とは、数多い沖繩織物の中でも古いもののひとつであり、糸芭蕉から作られます。伝統工芸士であり、平成13年に「沖永良部芭蕉布工房」を開設した長谷川千代子さん（下城）は、以来、高い志と情熱を持って、着物や帯をはじめ、帽子、バッグ、名刺入れなどの「芭蕉布」製品を作り続け、今では県下を代表する、日本に誇れる伝統工芸品・特産品となっています。

今回、島の伝統技術を守り継承すべく、後継者の募集をします。

「芭蕉布」の製作は年間を通して行われ、その技術習得には2、3年かかりますが、この誇るべき伝統工芸を、あなたの手で守っていきませんか？

後継者の要件

- 一 島内に在住している方
- 二 18〜40歳程度の方

※交通費は支給可

（お問い合わせ先）

沖永良部芭蕉布工房

電話（93）4753

企画振興課

電話（84）3162



伝統工芸士の長谷川さん

沖永良部衛生管理組合「財政事情」の公表

問 衛生管理組合 電話(92)2042

平成25年度の歳入歳出決算が10月議会定例会で承認されました。一般会計では歳入決算額が501,951千円、歳出決算額が470,247千円となりました。これは、前年度と比較すると、歳入で△3,738千円（△0.7%）、歳出で△35,398千円（△7%）となりました。

今後ごみ分別の啓発活動や日々の運転管理、日常の補修や整備を行い、各施設の更なる延命化と廃棄物の適正処理に努めてまいりたいと思います。

特別会計の決算額

（単位：千円）

会計名	収入	支出
と畜場特別会計	399	393

公有財産状況（平成25年度末現在）

	一般会計	と畜場会計
車両等	7台	0台
土地	96,346㎡	3,867.28㎡
建物	33,6985.42㎡	554.60㎡
基金	30,371千円	1,394千円